

自ら未来を拓き

ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進

～人間力に満ちあふれ

社会や地域の持続的発展に貢献できる子どもを育てる学校経営の推進～

<趣 旨> 案

山形県連合小学校長会は、全国連合小学校長会研究協議会を受け、昨年度より大会主題を「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」に改め、その実現を目指している。私たちは、これまでの研究と実践の成果を踏まえながら、社会の要請に応えられる教育の推進を引き続き図っていかねばならない。

現代は、知識基盤社会への著しい進展やICT技術の進歩、社会のグローバル化の進行、急速な少子高齢化、地域コミュニティの弱体化など子どもを取り巻く社会情勢がめまぐるしく変化し、先行き不透明な時代になっている。国の教育改革もスピード感を増して進んでいる。また、平成23年3月の東日本大震災とそれに伴う原子力発電所事故は、「絆」の重要性と自他の「いのち」や「生き方」について深く考える契機になり、人々にこれからの社会のあり方を現在も問い続けている。

さらに、新型コロナウイルス感染症の対応は長期化しており、子どもの体と心の健康保持及び学びの保障は深刻な課題となっている。また、GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の有効活用についても継続して取り組むべき課題である。

このような状況の中、学校には、学習指導要領の趣旨をふまえ、自分の意思をしっかりと持ち、多様な価値観をもつ人々とともに考え、問題解決に主体的に参画し、地域社会の発展に貢献しようとする意欲と態度をもつ日本人に育てていく役割がある。

私たち校長は、学校経営を通して、子どもたちが夢と希望をもち、自ら未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育を推進していく必要がある。

本協議会は、第6次山形県教育振興計画（後期計画）の基本目標「人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり」と目指す人間像「いのちをつなぐ人 学びを生かす人 地域をつくる人」の実現に向け、山形らしい教育をより推進していく。また、働き方改革や世代交代、学校統廃合等の課題に直面する中、学校の経営者として不易と流行を見極め、いのち輝く子どもの育成に努めることとする。

大会の運営にあたっては、これまでの分科会協議を柱とした研究協議のもち方を継承するとともに、今年度開催される全国連合小学校長会協議会島根大会の分科会構成も見据えながら、5分科会構成による運営充実に努め、これからの学校教育と校長の果たすべき責務について明らかにしていく